

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870201328
法人名	社会福祉法人 大島福祉会
事業所名	グループホーム あしょかの里
所在地	今治市吉海町仁江 2 6 2 - 1
自己評価作成日	平成22年2月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

家族や地域の人にいつでも気軽に来てもらえるホームにしたいと心掛けています。習字、念仏、出前喫茶、爪切り、草引き等色々なボランティアの方が来て下さっています。今後もボランティアの受け入れを積極的に行い利用者の方の楽しみを増やしたいと思っています。グループホームの畑で取れた旬の野菜や地元の新鮮な魚を使って美味しい食事作りを心掛けています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●調査訪問時に爪切りボランティアの方が来られており、利用者個々の爪を切っておられる様子が見えた。又、草引きをして下さったり、踊りや歌を披露して下さるボランティアの方、お寺の住職の方の説法を聞く機会もある。保育園や幼稚園の園児が来られて、一緒に折り紙をしたり、歌等を聞かせてくれている。地域の方達との交流があることで利用者の楽しみごと等が増え「地域に支えられている」と管理者は話しておられた。「出前喫茶」で地域の方が来て下さり、本格的なコーヒーを点ててくれることを利用者は楽しみにされている。 ●地域のJAの人達で作っておられる「ミニデイサービス」に利用者とはかけ、地域の中で知り合いを増やしておられる。利用者ご本人の誕生会には、ご家族方等、数名集まり、ご本人やご家族の希望でカラオケを楽しむ予定になっていた。

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年3月1日

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働いている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム あしよかの里

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名

村上 五鈴

評価完了日

平成 22年 2月 19日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			理念を常に意識しながら仕事に取り組んでいる。今年は理念の見直しを行い、「利用者の方の自由」について考えながらサービスの質の向上を図りたい。	
			(外部評価)	
			「感謝の心を大切に、いつもにこにこ真心こめて笑顔あふれる、和やかな暮らし」と理念に掲げて、日々のケアに心を込めて取り組めるよう心がけておられる。	事業所が地域の中の「地域密着型サービス事業所」として、どのようなことを目指し、取り組んでいくのかということを話し合ってみてほしい。さらに事業所では「利用者の方の自由」な暮らしを支援していきたいと考えておられる。今後さらに、管理者は、事業所が目指すケアサービスの具体を示しながら、職員を牽引していかれてほしい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			地域の行事への参加やボランティアの受け入れを積極的に行い、地域の方との交流を行っている。	
			(外部評価)	
			調査訪問時に爪切りボランティアの方が来られており、利用者個々の爪を切っておられる様子がうかがえた。又、草引きをしてくださったり、踊りや歌を披露してくださるボランティアの方、お寺の住職の方の説法を聞く機会もある。保育園や幼稚園の園児が来られて、一緒に折り紙をしたり、歌等を聞かせてくれている。地域の方達との交流があることで利用者の楽しみごと等が増え「地域に支えられている」と管理者は話しておられた。「出前喫茶」で地域の方が来て下さり、本格的なコーヒーを点ててくれることを利用者は楽しみにされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			小学校の体験学習の受け入れを行っている。今後中学校の体験学習も行う予定です。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○ 運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議を2ヶ月毎に開催し、運営状況や行事予定の報告、あしよかの里便りの発行している。運営推進会議で出た意見については、全職員で話し合いを行いサービス向上に努めている。	
			(外部評価)	
			会議を2か月に1回開催し、利用者の普段の様子を見ていただけるよう、ホーム内で行っておられる。利用者も参加されて自己紹介をされたり、会議の回数を重ねることで、利用者も発言されるようになったようである。	今後事業所では、会議の参加者を増やしていきたいと考えておられた。さらに、事業所の取り組みにつなげていけるような会議のすすめ方や内容等についても工夫を重ね、さらなる事業所のサービスの向上に努めていかれてほしい。
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)	
			運営推進会議等について、気軽に相談をし協力をお願いしている。	
			(外部評価)	
			市の担当者に、事業所の行事や運営推進会議のすすめ方の工夫について、アドバイスをいただいた。	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			研修会で学習し職員間で話し合いを行い、身体拘束をしないケアを実践している。	
			(外部評価)	
			県GH協議会の職員研修等で身体拘束をしないケアについて学び、職員が集まるミーティングの機会等に全職員に周知されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会で学習し職員間で話し合いを行い、虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会で勉強したが、活用する機会はない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行い、理解納得は出来ていると思う。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者や家族の意見、要望は日常生活の会話や面会時又電話等で聞き職員間で話し合いを行い運営に反映している。 (外部評価) 事業所便り「あしよかの里便り」を2か月に1回作成し、ご家族の来訪時に手渡しされている。便りには新人職員の紹介や誕生会、外出時の様子等の写真も載せておられる。ご家族にアンケートを取り、家族会を年2回、春と秋に行うことに決めておられた。ご家族から「職員の顔と名前が一致しない」というご意見があり、名札を付けるようにされていた。ご家族の中には、押し花教室の講師としてボランティアに来てくれている方もある。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月ミーティングを行い、意見交換をしている。	
			(外部評価)	
			法人で職員個々の面談を行うようになっており、運営についての意見や日ごろ気付いたことを聞き取ってくれるようになっている。職員は、相互研修に参加して、他事業所の記録の仕方を採り入れておられた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			個人面接を実施し、職員個々の悩みや要望等を聞く機会を設けている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			グループホーム連絡協議会の研修会には全職員が参加し毎月のミーティングで研修報告を行っている。又相互研修に毎年参加している。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			相互研修に参加し、他ホームの職員の意見を聞きサービスの質の向上に取り組んでいる。毎年他の事業所でのマンドリンコンサートに出掛けている。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用前に利用者に会って話しをしたりホームを見学してもらう等して少しでも不安をなくすように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前訪問したりホームを見学してもらう等して家族の話を時間をかけて聞く様にしている。	
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族のニーズに応じる様に努めている。	
18		○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 人生の先輩とし尊重し、色々な事を教えて頂き支え合う関係を築いている。	
19		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族が面会に来られた時、楽しい時間が持てる様に支援している。	
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 地域のミニデサービスや特養の行事、又地域の色々な行事にも積極的に参加し交流の機会を持つ様にしている。家族や知人等多くの方の面会をお願いしている。 (外部評価) 地域のJAの人達で作っておられる「ミニデサービス」に利用者と出かけ、地域の中で知り合いを増やしておられる。利用者ご本人の誕生会には、ご家族方等、数名集まり、ご本人やご家族の希望でカラオケを楽しむ予定になっていた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) テーブルの座席を工夫している。皆さんが協力して洗濯物たたみ、掃除、調理等が楽しく出来る様に支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他施設に入所しても時々会いに行く様にしている。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の会話の中から本人の希望や意向の把握に努めている。	
			(外部評価) 職員は、日々の介護記録の中に利用者個々から得た情報を書き留めておられる。	事業所では、今後センター方式を用いてアセスメントをすすめていくことを計画されていた。さらに利用者個々に担当職員も決めておられる。利用者個々の思いや暮らし方の希望、意向等の把握にさらに努められるよう、アセスメントの充実に取り組み、ご本人主体の生活を支援できるような介護計画の作成につなげていかれてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族から出来るだけ詳しい話を事前訪問で聞くようにしている	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの状況を把握し、その人の能力が発揮出来るように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			介護計画の作成は本人、家族の要望を聞き職員間で話し合いをして行う。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)	
			ご家族には来訪時に要望等を聞くようにされている。現在、介護計画の作成は遅れがちになっている。	今後、事業所では「ご家族と話し合いながら介護計画を作成していきたい」と考えておられる。「利用者個々がホームでどのように暮らしたいか」という意向を探り、支援につなげていけるよう計画の作成に取り組まれてほしい。地域の力やご家族の協力等もいただきながら、利用者の暮らしを拡げていかれてほしい。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			業務日誌や介護記録、個別ノート等で情報を共有している。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			民生委員や色々なボランティアの方々の訪問を受け、楽しい暮らしの支援をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○ かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			入所者全員、嘱託医がかかりつけ医となっているが問 題は全くない。毎週往診があり必要時はいつでも連絡 が取れる体制が出来ている。	
			(外部評価)	
			訪問マッサージを受けておられる方もあり、ご本人の 希望で女性のマッサージ師をお願いされている。	
31		○ 看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			協力医療機関や特養の看護職員と連携を取り健康管理 の支援を行っている。	
32		○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で けるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			医療機関と連携をとり、退院に向けての相談をしてい る。	
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			事業所での看取りは難しいと考えているが、協力医療 機関との連携を密にし、家族と話し合いをしながら対 応して行く。	
			(外部評価)	
			事業所では「ホームでの対応がむづかしくなった場 合」は、協力医療機関に入院するか、併設の施設に移 ることになっている。	さらに、ご本人の希望やご家族の意向等も聞き取り、 希望に沿った支援が事業所でも行えるような体制作り に向けてすすめていかれてほしい。又、利用者個々の 健康面等も含めて、今後のことについて、ご家族の不 安や心配なこと等を聞き取るような機会を作ってはど うだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 研修会で学習し職員間で勉強はしているが、定期的な訓練は行っていない。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は行っているが、地震、水害時の避難方法や地域の協力体制については今後考えて行く必要がある。 (外部評価) 1月には、夜間時の火災を想定して避難訓練を行われた。職員が「火災発生」を大きな声で皆に知らせ、利用者を外に避難誘導された。地域の方には口頭で協力をお願いされている。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人ひとりの尊厳の保持を重視して日常生活を支援している。受容と共感の心を大切にしている。 (外部評価) 職員は「～さん」等、利用者の呼び方に気を付けておられる。利用者の嫌がるようなことについては無理強いしないように心がけておられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人の要望を出来るだけ聞く様にしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の都合を優先する事が多いが、出来るだけ本人の希望も大切にしながら支援を行っている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 毎日の髭剃りや定期的な散髪等の支援を行っている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備や片付けはほとんど職員が行っているが、テーブルを拭いたり煮干の頭や腹わたを取ったりお茶の葉をパックに入れたり等出来る事は職員と一緒にやっている。職員と一緒に調理を行う事もある。 (外部評価) 食事中、職員は少し離れた場所で見守りをされており、利用者にあまり話しかけずに個々のペースで食事ができるようにされていた。昼食は11時半から、夕食は5時半からになっており、食事前には職員が、皆の前でメニューを知らせておられた。食事中に手を拭けるようお膳のトレイには個々におしぼりを用意されている。節分には、利用者も巻きずしを巻いた。調査訪問時には下膳をされている利用者が見られた。	現在、昼食と夕食は、職員の勤務時間等に合わせた利用者の食事時間となっている。利用者主体の暮らしを支援するための食事支援のあり方について、全ての職員で話し合われたり、おいしい食事を利用者がさらに楽しむことができるような職員の関わり方の工夫について、又、利用者個々の力を活かせるような支援等についても工夫を重ねていかれてほしい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスを考えて献立を作り、食事量、水分量を記録している。毎週体重測定を行っている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後歯磨きの声掛けをし、一人ひとりに応じた介助を行っている。週2回義歯洗浄も行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			トイレ誘導を行い、出来るだけ失禁のない様に支援している。又排便コントロールが上手く行く様支援を行っている。	
			(外部評価)	
			利用者個々に排尿、排便の状況を記録されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			繊維の多い食材を考え水分補給を心掛けている。リハビリ体操やレクレーションをして出来るだけ体を動かす様にしている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			午後は昼寝をしたい人が多い為午前中に入浴を行っている。体調やその日の気分を考えながら支援している。	
			(外部評価)	
			一般家庭用の浴槽で利用者は皆、湯船に入り温まれるように支援されている。職員は、利用者がリラックスできるよう、会話等もしながら入浴を支援されている。	利用者個々の入浴の習慣や好み等も探り、入浴時間等について検討してみてもどうか。利用者主体の生活の流れになっているか、利用者個々に点検してみしてほしい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			一人ひとりの生活習慣を大切に自由な休息をとれる様に支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○ 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方内容をまとめて必要時は確認をしているが、薬の副作用等について理解は出来ていない。	
48		○ 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 掃除や洗濯ものを干したりたたんだり等出来る家事を毎日の日課として行っている。草引きが毎日の楽しみになっている人もいる。散歩、ドライブ等外出の機会を出来るだけ多く作り気晴らしの支援をしている。	
49	18	○ 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日は、散歩やドライブ等外出する機会を作っている。又自宅に帰ったり家族と旅行に行く等している。 (外部評価) 法人の敷地内の草引きを毎日される方もいる。買物やドライブに出かけることもある。近くの神社に初詣に出かけられた。	
50		○ お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望で所持している人もいるが色々問題があるので他の人は職員が管理を行っている。	
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) いつでも自由に電話が出来る様になっている。年賀状は毎年書いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			居間からは外の景色や菜園が見えるので外を眺めながら自然に親しみ季節感を楽しむ事が出来る。季節の花を飾ったり、日差しが強い時期には日よけネットを利用して光を和らげたりしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			玄関には、ご家族が持参された桜の花が生けられていた。居間からスロープで畑に出られるようになっており、畑の野菜を収穫に出られる方もある。鳥のえさを置いて、雀が来るのを楽しみにされている利用者もあられた。窓から見える山を見て、利用者同士でおしゃべりが弾んでいる様子がうかがえた。テーブルの下には利用者が座った時に足が置けるように手作りの足台があった。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			居室にはテレビやタンスその他好みの物を置いてある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			タンス入っている衣類が分かるように、それぞれに示してあった。各部屋に鏡付きの洗面台があり、整容されたり歯磨きをされる方もある。ベッドに横になりラジオを聞いておられる方もあった。ご家族の写真やお商売をされていた頃の帳簿を時々見て、大切にされている方もあった。	
55			(自己評価)	
			トイレや浴室、居室は分かり易い表示をしている。混乱や失敗が生じた時は優しい言葉掛けを心掛けている。	